

## 令和3年6月定例記者会見及び5月月例記者会見

### 【説明】

#### 〔6月議会案件〕

#### 〔令和3年生駒市議会（第3回）定例会 提出案件〕

**市長** 生駒市議会6月定例会の議案について説明します。議案件数は13件で、そのうち報告案件が6件、補正予算が1件、条例改正が5件、人事案件が1件です。補正予算については、8億円弱を計上しております。具体的には、まず、昨年度から取り組んでいる地域外来検査センター（PCRセンター）を継続するものです。令和4年3月末までとしておりますが、新型コロナウイルス感染の状況により終了時期は変動する可能性があります。2つ目は、国の補助等により対応する新型コロナウイルスワクチン接種事業費です。3つ目は、児童手当に係るもので、低所得の子育て世帯に対して児童1人あたり5万円を支給するものです。4つ目の時短協力支援金事業ですが、奈良県の緊急対処措置に基づく事業で、新型インフルエンザ等対策特別措置法第29条に基づき、一部市の負担もありますが、国、県からの補助金により、時短協力支援金を支給するものです。その他に、地域部活動推進事業として、学校の先生方の働き方改革の一環で、地域での総合型スポーツクラブの活用も考え、スポーツクラブ活動等に教師以外の地域の指導者にもお願いするというものです。当初、運動部が2部、文化部が1部で、国のモデル事業として奈良県では初めての取組です。また、今後の新型コロナウイルス感染症対策や台風などの災害対策として予備費を4,000万円増額補正します。

条例改正につきましては、全て、国の制度変更に伴う措置を講ずるためのものです。

#### 〔生駒市史編さん事業がスタートしました〕

**市長** 市制50周年記念事業として、生駒市史編さん事業をスタートしております。現在、昭和46年から15年かけて発刊された生駒市史がありますが、その後30年間に行われた発掘や古文書調査の成果やこの期間の生駒市の動向等を盛り込んだ新しい生駒市史を市内在住の研究者や、ふるさとミュージアムを中心に活動をされている方々にもご協力頂き、一から編さんするもので、全4巻と史料集の編成で令和9年度の完成を目指しています。

専門家からなる編さん委員会と古代史、中世史、近世史、近現代史、文化遺産のそれぞれの分野に分かれての分科会があり、併せて、市内部の行政経営会議にも専門部会を設けます。具体的な作業等は、図書会館2階に市史編さん室を設置して行っており、また、市民の方などにご協力頂くため、ボランティアスタッフの募集もしています。

#### 〔奈良先端大シンポジウム〕

生駒市制50周年と奈良先端科学技術大学院大学創立30周年を記念しまして、7月22日に連携してシンポジウムを開催します。基調講演は、国立研究開発法人情報通信研究機構理事長の徳田英幸さんです。パネルディスカッションでは、生駒市出身の藤沢久美さんがコーディネーターで、パネリストでは、地元鹿ノ台自治連合会長、基調講演の徳田さん、官民連携事業研究所、先端大の教授、准教授と生駒市長となっております。鹿ノ台地域は、地元ということだけではなく、地域のいろんな課題に積極的に取り組んでおられまして、例えば、一人暮らし高齢者に対する見守りにセンサーを活用したり、高齢者の買い物、移動支援などデマンド型の交通網を活用して出来ないかという取組など、独自の地域活動をとても盛んに行われて

いるところですが。これらの取組に対して先端大との連携もされています。

**【 質疑応答 】**

**記者** 児童手当支給の該当者の人数を教えてください。

**担当課長** 児童数 3,246 人です。

**(その他の質問)**

**記者** 感染拡大緊急警報は延長されますか。

**市長** まだ決めておりません。感染者の人数も減ってきていますが、奈良県、国の動向や感染者数の状況などを勘案し、今週中には判断したいと考えています。

(了)